

1. オーストラリアでのボルトツリー搬出作業
2. 「花宇」で育てている食虫植物
3. 式典会場に飾られた満開のエドヒガン
4. 複雑な枝ぶりの本桜を巧みに生ける西島さん



1

提供元：そら植物園



2



3

プラントハンター 西島清順さん

明治元年から150年続く、植物卸問屋「株式会社花宇」5代目。国内外を旅し、収集・生産する植物は数千種類。海外のプロジェクトも含め、年間2,000件を超える案件に对应している。平成24年、ひとの心に植物を植える活動“そら植物園”をスタート。さまざまな企業・団体・個人と植物を使ったプロジェクトを多数進行中。



4

真夏に咲く桜 開花調整は川西発祥の技術

川西は、世界でも稀な自然に恵まれた環境
一緒につくりたい、ますます緑豊かな住みやすいまち

市制施行60周年記念式典の会場で8月
なのに桜が咲いていましたか？

開花調整は、曾祖父の代に考え出した川西発祥の技術なんです。本桜とエドヒガンを年明けから8カ月かけて、ちょうど式典で満開になるよう冷蔵庫で調整しました。

プラントハンターとはどんなことをするのですか？

特殊な植物や珍しい植物など、さまざまなプロジェクト用の植物を届けています。その一つ、東京にある「代々木 VILLAGE by kukku」では、広大な庭に世界中から植物を集めてきましたが、そのシンボルツリーである、南半球のボルトツリーは今までで一番印象に残っていますね。

子どもたちに伝えたいことは？

動物でも珍しいものを見るとワクワクしたり、興味が湧いたりしますよね。植物も同じで、身近なものでもいいですが、まずは海外の面白いものを見てもらいたいです。びっくりするほど大きいものや食虫植物など、いろんな植物のことを知ってもらえたら、きっと好きになりますよ。

子どもの頃から育った川西の印象は？

子どもの頃は、川西が便利で自然豊かな環境に恵まれていると、全く感じていませんでした。でも、海外に留学して、川西ほど住みやすいまちはないって思いました。そういうことを知って暮らすのと、そうでないのでは違います。一人でも多くの人に知ってもらいたい。川西がますます緑豊かな住みやすいまちになるよう、一緒につかっていきたいですね。

CHECK & QUIZ

次の空欄 (○の中) を埋めてください。

1:「支えられる」のは○たち 2:9月○日は「防災の日」

クイズ正解者の中から5人に、図書カード(1,000円分)を差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、今号で興味のある記事と感想を書き、9月10日(水) (消印有効) までに〒666-8501・広報室「クイズ」係へ。

※8月号の正解は(シ)(8)で、71通の応募がありました。

7月末現在の人口

男…………… 76,526人 (- 8)

女…………… 84,100人 (- 4)

計……………160,626人 (- 12)

世帯数…68,484世帯 (+ 57)

